



渡部恒三氏死去

「平成の水戸黄門」

88歳 元衆院副議長、通産相など歴任



元衆院副議長で通産相などを務めた渡部恒三(わたなべ・こうぞう)氏は23日午前2時8分、死去した。88歳。自宅は会津若松市城東町14の51。葬儀・告別式

は近親者で行う。後日お別れの会を執り行う。

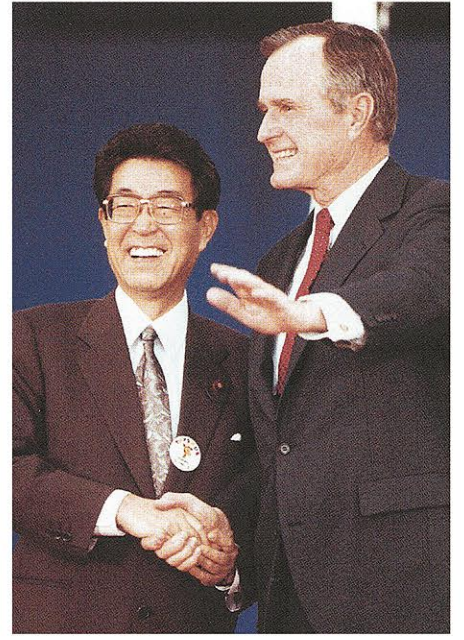
渡部氏は南会津町(旧田島町)出身、会津高、早大第一文学部卒。内閣官房副長官などを務めた八田貞義

氏の秘書や県議を経て、1969(昭和44)年の衆院選で37歳で初当選。14回連続当選を果たした。83年に第2次中曽根内閣の厚生相として初入閣し、自治(国

家公安委員長)、通産の各相を歴任した。92年には通産相として本県での四極通商サミットの開催に尽力。96年から2003年まで衆院副議長を務めた。

無所属での初当選となったが、幹事長を務めていた田中角栄氏の計らいで自民党に追加公認。党内では国会対策委員長などを務め、竹下派七奉行の一人と目された。93年に自民党を離党し、羽田孜、小沢一郎両氏らと新生党を結党。後に新進党、民主党でも要職を務め、2012年に政界を引退した。

「平成の水戸黄門」「政界のご意見番」と親しまれ、歯に衣着せぬ「恒三節」で存在感を示した。国民民主党県連の最高顧問を務めていた。03年に勲一等旭日大綬章受章。佐藤雄平前知事の叔父。



政界の ご意見番

